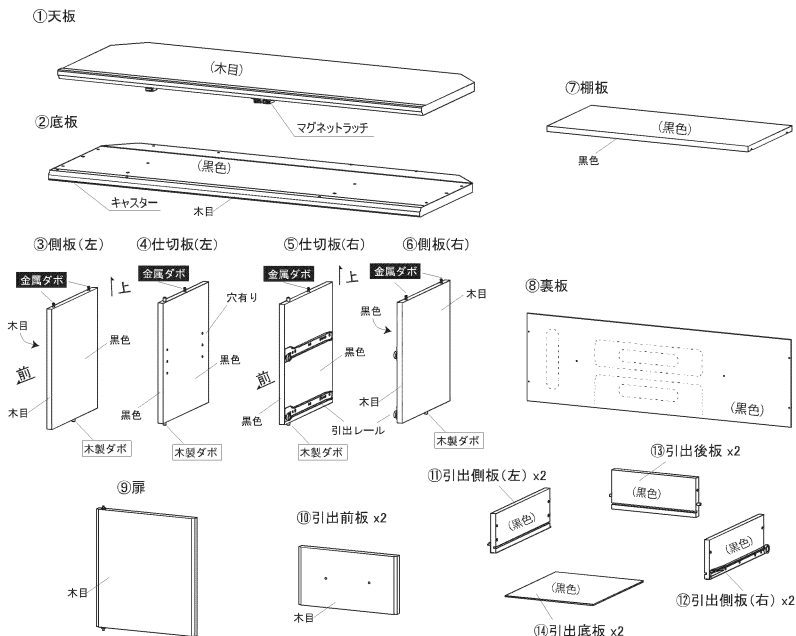


AS-HJ1100-MB

部品一覽

◎組み立て前に下記の部品表の全ての部品が揃っているかどうかお確かめください。



No.	部品図	部品名	数量	No.	部品図	部品名	数量
⑮		ラッパネジ	6	⑬		ハンドル	2
⑰		引出組立ネジ	8	⑭		ハンドル用ネジ	4
⑱		棚ピン	4	⑮		スチールバー	2
⑲		回転ピン(A)	2	⑯		キャスタートレイ	2
⑳		回転ピン(B)	2	㉑		転倒防止ロープ	1
㉑		プレート	2	㉒		ワッシャー	2
㉒		固定ネジ	6	㉓		転倒防止ロープ用取付けネジ	1

◆ご用意の道具



プラスドライバー

取扱い上のご注意

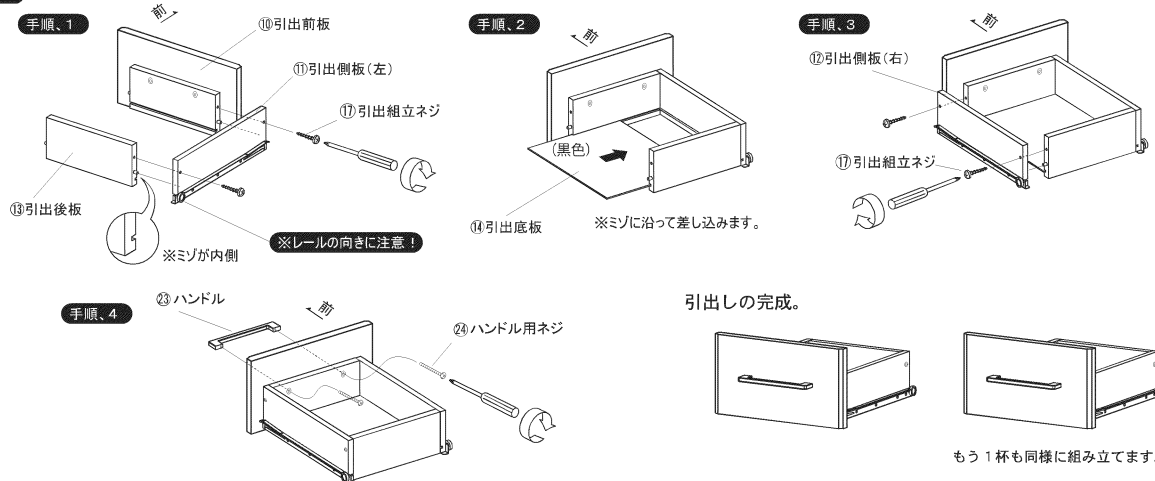
1. 直射日光にあてたり、ストーブのそばにおくと光や熱により変色、変形することがありますご注意ください。
2. この製品にセロテープ、ラベル等を貼らないでください。(はがすときに表面の化粧面がはがれる場合があります。)

お手入れのしかた

- 汚れをとる時は、乾いた布でふいてください。汚れのひどい時は、中性洗剤をしみ込ませた布をかたくしぼったもの、又は家庭用クリーナーで汚れを落としてから、乾いた布でふいてください。
- ペンジン、シンナーの使用は、変色や色ハゲの原因になりますのでおやめください。
(化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きにしたがってください。)

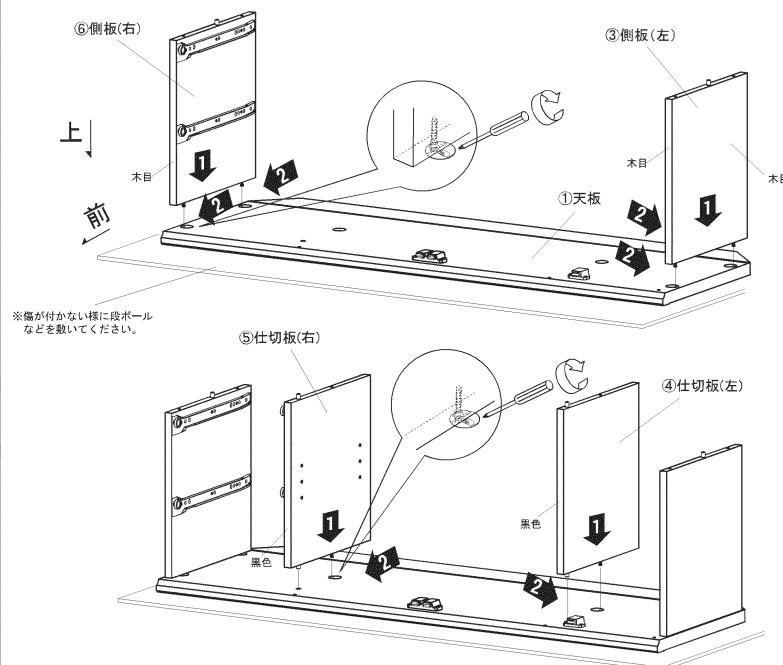
お買いあげいただきありがとうございます。
組み立てる前にこの組立説明書を必ずお読みください。
そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

1 引出しの組み立て



2 天板と側板、仕切板の組み立て

上下向きに注意して組み立ててください。



朝日木材加工株式会社


〒440-0071 愛知県豊橋市北島町字北島87番地
TEL (0532)53-3338

※住所電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

手順

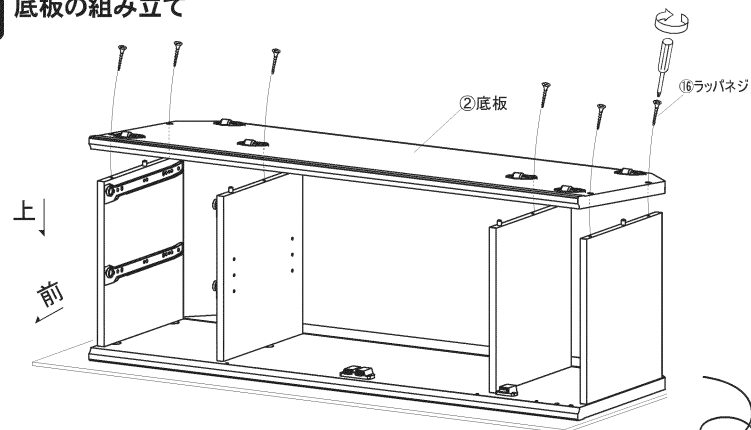
1. 側板(右)(左)、仕切板(右)(左)を
天板のジョイント金具に
金属ダボを隙間の無い
ようにしっかり差し込む。
2. プラスドライバーでロック
(約120° 締める)します。

側板(右)(左)、仕切板(右)(左)を上から
しっかりと押さえて、組み立ててください。
※押さえが不十分だとジョイントを
ロック出来ない場合があります。

うまくロックできない場合は、一度ドライバーで  に回して最初からやり直してください。

裏面に続きます

3 底板の組み立て



ゆっくりと
ひっくり返して
ください。

4 裏板の組み立て

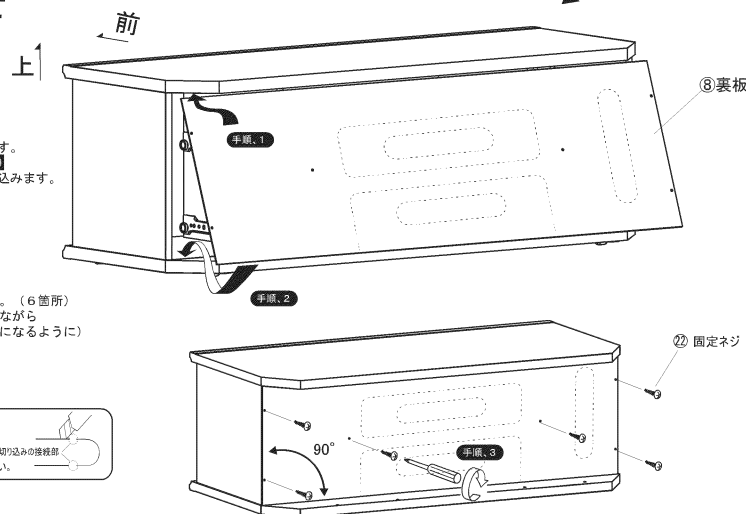
手順

1. 裏板を天板ミゾに差し込みます。
(裏板は黒の面が内側です。)
2. そのまま底板のミゾに落とし込みます。

3. 固定ネジで裏板を固定します。(6箇所)
その時、本体の傾きに注意しながら
締め付けてください。(直角になるように)

機器などを設置するときは

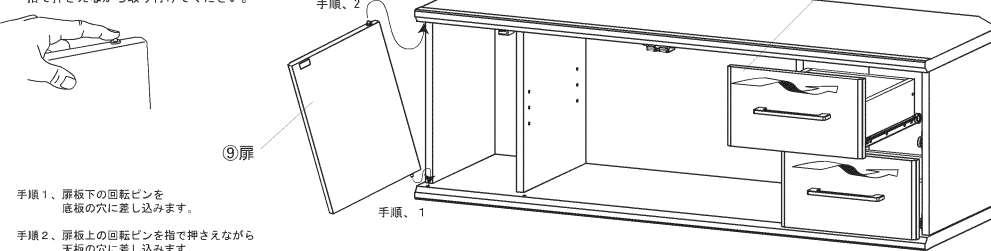
裏板には配線処理用として上図の点線部が
あくようになっていて、右図のように切り込み
の接続部をカッターなどで切り取ってください。切り込みの接続部
その際は、カッターの取扱に十分ご注意ください。



5 扉の組み立て、引出しのセット

※プッシュ式です。
指で押さえないが取り付けください。

[工程1]で組み立てた、引出しを
レールに合わせて、セットしてください。

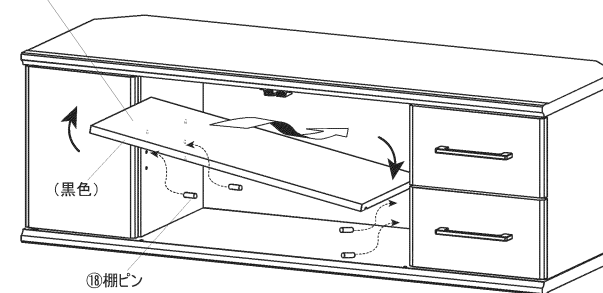


手順1、扉板下の回転ピンを
底板の穴に差し込みます。

手順2、扉板上の回転ピンを指で押さえないが
天板の穴に差し込みます。

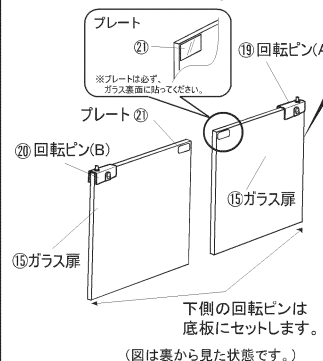
6 棚板の組み立て

⑦棚板 傾けながら、挿入してください。

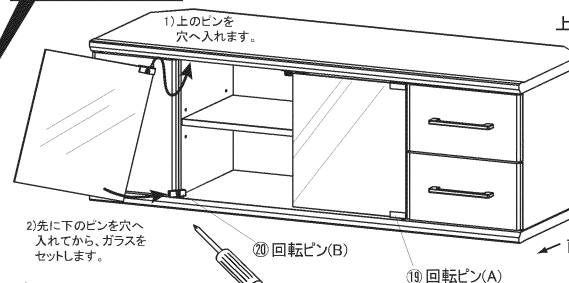


7 ガラス扉の組み立て

ガラス扉を図のように2枚セットし、
取り付けください。



表面に TEMPERED
シールが貼ってあります。

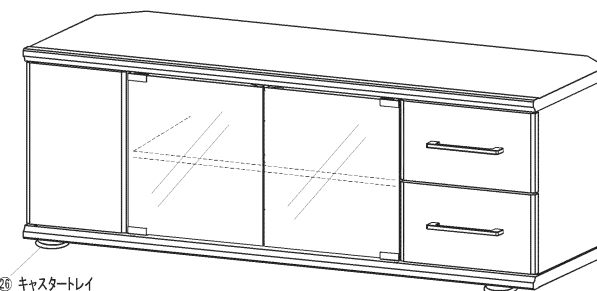


注意

ガラス扉のフィルム面は裏(内側)にしてください。
フィルム面に傷をつけると破損しやすくなり、
けがをする原因となります。

※ガラスのすきまが不均一になった時は
回転ピンのネジをゆるめて調整してください。

8 完成

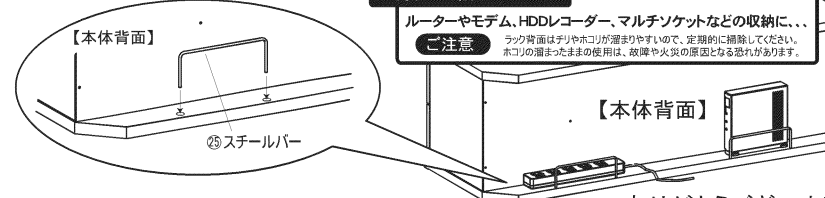


※移動される時以外は、必ず
キャスタートレイをご使用ください。

【耐荷重】
天板: 30kg以下
棚板: 10kg以下
底板: 10kg以下
引出し: 各5kg以下
総耐荷重: 60kg以下
*この範囲内でお使いください。

背面収納について

ルーターやモデム、HDDレコーダー、マルチソケットなどの収納に...
【ご注意】
ラック背面はデリやホコリが溜まりやすいので、定期的に掃除してください。
ホコリの溜まったままの使用は、故障や火災の原因となる恐れがあります。



ありがとうございました。

テレビ転倒防止(前面方向)についてお願い

テレビにお様が登ったり、揺すったり、押したりされますとテレビが前面方向に倒れるおそれがあります。その際の事故防止と地震等、非常時の安全確保のために、転倒防止を下記にもとづき実施して頂きますようお願い致します。

テレビの転倒防止処置についてはテレビ付属の転倒防止用部品にて対応出来る場合もございます。テレビの取扱説明書をご参考の上、テレビ付属の転倒防止用部品かAVラック付属の転倒防止用部品のどちらか適した方を選択しお取付けください。

【テレビの形状により図の様に取付けできないものもございますので、ご了承ください】

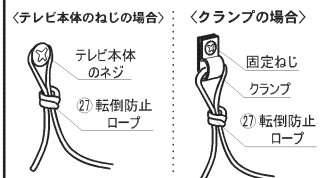
AVラック付属 転倒防止用部品	27 転倒防止ロープ … 1	28 ワッシャー … 2	29 転倒防止ロープ用 取付けネジ … 1
--------------------	----------------	--------------	--------------------------

※テレビ側に固定するネジは付属しておりません。

手順 1

テレビ本体のねじまたは、テレビに付属されている転倒防止用金具(固定ねじ・クランプ等)にロープをかけます。

※取付穴は壁掛け金具取付用ネジ穴などを使用します。

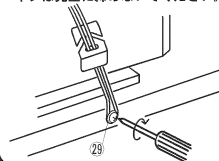


上図の様にロープを結んで取付けをします。

※必要に応じて28 ワッシャーをご使用ください。

手順 2

ロープが輪になっている部分を図の様に転倒防止ロープ用ネジで天板に仮固定をします。ネジは完全に締めないでください。



手順 3

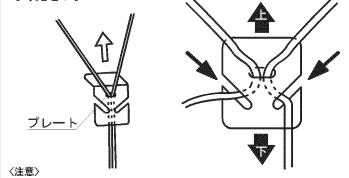
片側と同様にロープを取付けます。

重要!!

テレビ内部やコンセントに入らないようあまったロープは巻き付けるまたはテープなどで止めてください。

手順 4

ロープがV字状に取付けが出来たらプレートを図の向きにし、上に引き上げてロープを張らせませす。ロープが張った状態でプレートのミソにロープを引っ掛けて固定します。最後に手順2の転倒防止ロープ用ネジをしっかりと締めてください。



＜注意＞
ロープを張りすぎるとテレビが転倒する恐れがありますのでご注意ください。

使用上のご注意

説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく設置しお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

■表示と図記号について

- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- テレビやAVラックにぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください
テレビが転倒したり、機器が落下したり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 振動のある場所に置かないでください
振動でテレビが転倒したり機器が落下しけがの原因となります。
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所には設置しないでください
テレビが転倒し、けがの原因となります。水平で安定したところに据え付けてください。
- 部品を改造しないでください
AVラックの強度が保たれなくなりテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

注意

- 薄型テレビ以外のものを載せないでください
本製品は薄型テレビを載せる専用AVラックです。その他のものや重いものを載せないでください。
- テレビはAVラックの中心に設置してください。
設置のバランスが悪いとテレビが倒れたりこわれたりして、けがをする恐れがあります。
※ 記載されている耐荷重を超える機器は載せないでください。
- 高温・多湿の場所に置かないでください
直射日光やストーブの熱が直接あたった場所に置くと、変形・変色・そりなどの原因となります。
- 手や指はさみにご注意ください
ガラス扉や可動部に手や指をはさみこまないようにしてください。けがをする恐れがあります。同様にテレビを設置する時もご注意ください。
- 移動・設置において
 - 移動させるときは接続している機器を取り外してから行ってください。転倒してけがをする恐れがあります。
 - 移動させた後に、ネジのゆるみ金具のガタツキがないか確認をしてください。ガタツキがあると変形・転倒をする原因となります。
 - キャスターで移動させる時はゆっくりと動かしてください。床面の段差がある所は持ち上げてゆっくりと動かしてください。フローリング床の表面がやわらかい場合、キャスターの移動跡が残る恐れがあります。
- 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください
さびや故障・変形の原因となります。
- ガラス部品について
ガラスには強化処理を施していますが、使い方を誤ると割れる恐れがあります。割れるとガラスの破片が飛び散りけがの原因となりますのでご注意ください。
 - ガラスに物をぶつける、ガラス扉に開けたままぶつかるなど強い衝撃を与えないでください。破損しやすくなり、けがの原因となります。
 - 鋭利なもので傷つけたり、ガラス面を突いたりしないでください。破損しやすくなり、けがの原因となります。
 - ガラスに傷やけがが生じた時は、すぐに取替えてください。強化ガラスの場合ガラスに傷がつくと突然破損することがあります。
- 放熱を妨げないでください
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。壁に押しつけないでください。(10cm以上の間隔をあける)
- 固定用ネジ・チョウバンなどが緩んだまま使用しないでください
変形をしてテレビが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

※製品の仕様は改善等の為、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。